



カリオカの風

リオデジャネイロ日本人学校通信

12月8日号

令和5年12月8日

校長 小堺 広司

学校教育目標

「自他の生命と人権を尊重し、
ねばり強くたくましい心豊かな
児童生徒を育成する」

～世界の架け橋となる子ども
たちの育成を願って～



「感謝」と「志」を大切に、良いお年をお過ごしください！

『菊根分け、あとは自分の土で咲け』

この言葉は、作家・吉川英治さんが知人の娘さんの結婚式に贈った言葉です。菊は肥料・水・日当りに絶えず気を配り、茎に支柱を添えるなど手間をかけた分、大輪の花を咲かすことができます。花が終わると根分けとして小さな株に分け次の世代の準備をします。人に例えると、生まれてきた時は食事・排泄・入浴・着替えなど、親に頼り手伝ってもらいますが、小学生になると、どう生きるかを考え始め、自分の努力で道を切り開いていきます。「あとは自分の土で咲く」ために、どれだけ豊かな心を育て、自分の力を信じる体験を積み重ねることができ、その舞台を整える重要な役割が親であり、教師なのです。

「一期一会」の出会いの中で私たち教師も、「あとは自分の土で咲け」と子どもたちに将来を託せるよう成長を支えてまいります。

この1年、保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。新年からも、日々怠ることなく丁寧な教育活動を続けてまいります。

<終業式校長講話より 12月8日>

2学期を振り返るとたくさんの行事があり、たくさんの方々と触れ合うことができました。自分の思いを形にするため皆さん自身も大変よくがんばり、大きく成長できました。支えてくれたお父さん・お母さん、先生方、リオ日学のスタッフの皆さんに「感謝」したいですね。今日は、1年の終わりに「感謝」と「志」について話します。

私はアフリカのケニアでこの季節を過ごしたことがあります。ケニアと言えば、何を思い浮かべますか？遠くにキリマンジャロ山を眺め、サバンナに住むライオン・ゾウ・サイ・キリン・チーターなどに出会えます。

マサイマラという村を訪れた時のことです。マサイ族の人々は土でできた家に住み皆裸足です。彼らに囲まれ「お前の履いている靴をくれ」と言われました。「なぜ？」と問えば、「それさえあればオリンピックのマラソンに出場できる」と言います。彼らはオリンピックに出場できれば貧しい生活から逃れられると信じているのです。

泊まったホテルの従業員はみな現地の貧し

い黒人たちです。大晦日、レストランで夕食を摂り、ほぼ終わりに近づいたところ、私たちが欧米のお客さんたちを前に従業員が讚美歌を歌いながら入場してきました。いつもなら威張ったようなお客さん方も、この時だけは彼らの労働に対して、大きな拍手を持って感謝しました。新年へのカウントダウンが始まると、明かりが消えてレストランは真っ暗になります。HAPPY NEW YEAR!その瞬間に明かりがついてお祭り騒ぎ、お客も従業員もみんな近くの人と抱き合って喜びます。彼らは喜びをジャンプで表します。高く跳べることが誇りです。身分の差や人種など関係なし、本当に幸せな時です。「また1年がんばろう」、そこにいた全員が思いました。

日本人医師・柴田紘一郎さんは、ケニアの子どもたちの命を守るため、「生命の尊厳」を大切に「志」を持って生きた方です。柴田さんは11歳の時、ドイツ人医師・シュバイツァーの生き方に感動して医者となります。シュバイツァーは、30歳を過ぎてから医師となり、私財を投げ打ってアフリカの医療に務めノーベル平和賞を受賞しました。柴田さんも31歳の時、ケニアに渡ります。治安や衛生面で、大変厳しい環境の中でしたが懸命に巡回医療に努めました。

「風に立つライオン」は、歌手さだまさしさんが1987年に発表した曲で、柴田さんがモデルです。ケニアで柴田さんは悩み苦しみ、愛する人とも別れて日本を離れ、切ないこともいっぱいあるけれど、くじけるものか！と自分を勇気づけ励ますために「風に向かって立つライオンでありたい」と歌い上げました。皆さんも今の暮らしで苦しいことがあったら「風に立つライオン」をイメージしながら、自分の「志」は何かを考えてみましょう。

それではみなさん、12月31日の大晦日、この1年リオデジャネイロ日本人学校で経験したことを思い出しながら、今穏やかに過ごしていることに感謝して、新しい年を迎えましょう。1月1日元旦「志」を持ち、自分らしく過ごせる1年となることを祈りましょう。

うさぎ年からたつ年へ変わります。良い夏休みを過ごしてください。

○ キャリア教育・領事館へ行ってきました！



12月1日(金)、小学部5年生から中学部の子どもたちが、将来の進路を考える授業(キャリア教育)で総領事館を訪問しました。

なぜこの職業を選んだのか、大変なこと、やりがいを感じるなど、

各部署ごとに担当の方が親切に答えてくださり、働くことの意義に触れることができました。

真鍋総領事様、随行してくださった薄井領事様、対応してくださったすべての皆様に感謝します。

○ 楽しかったクリスマス会！



12月5日(火)、クリスマス会をPTAの皆様が企画してくださり、心温まる時間を過ごすことができました。紙芝居・ジュエチャーゲーム・学校昼食会とパネトーネ(ケーキ)、サンタの登場と盛りだくさんな内容に、子どもたちは大満足でした。ありがとうございました。

○ 充実の生活科・リオタイム発表会！



12月5日(火)⑤⑥時間目、1～2年生は生活科、3年生～中学生はリオタイム(総合的な学習の時間)の発表会を実施しました。生活科では家族の歴史を紙芝居で紹介し、家族を大切にしている気持ちが伝わりました。リオタイムではSDGSについて調べた知識をまとめ、実践してみたことや提案したことをお客さん方に説明し、3つのグループの研究の成果について質問をしながらじっくりと耳を傾けることができました。

○ 学校運営委員の交代について

11月9日(木)、第8回学校運営委員会にて学校運営委員長の交代と新委員について承認されましたのでお知らせします。これまでご尽力いただいた佐藤様には感謝いたします。新委員長の坂本様、新委員の鳥飼様、どうぞよろしくお願いいたします。(敬称略)

委員長	坂本 聡亨 (三井物産)	委員より新
副委員長	志田 亨 (双日)	
委員	鳥飼 博 (三井物産)	新
委員	山本 良樹 (三菱商事)	
委員	井上 瑞 (MODEC)	
委員	西原 直柔 (総領事館)	
委員	酒向 克輔 (事務長)	
委員	小堺 広司 (校長)	
ご退任	佐藤 雄一 (三井物産)	元委員長

○ 元気でね！



12月8日(金)を最後に、佐藤真央さん(小3)が帰国します。楽しかった日々をありがとう。日本でも明るく元気で活躍してください。

3・4年生教室にて仲間たちと

○ フレスコボールは楽しい！



12月7日(木)、日本フレスコボール協会代表の久保島さんと10人の選手が来校し、競技の指導をしてくださいました。

3時間目＝小学部3年生まで、4時間目＝小学部4年～中学生に分かれフレスコボールの基礎から本格的な楽しさを学びました。

マンツーマンで打ち合いながらコツをつかみ円陣を組んでボールを落とさないゲームでは全員で呼吸を合わせてミッションを達成しました。

昼食を一緒に食べ、日本のお菓子のお土産ももらって最高の時間となりました。

<自分の庭で咲け ～父の気持ち～>

ロンドンで働く長女がリオに来た様子を日本に住む姉にSNSで伝えたところ、「一生の宝物ができましたね。父がよく私に言っていた言葉を思い出しました。『菊根分け、あとは自分の土で咲け』…って。誰の言葉だろう？父の気持ちが今ならわかります」と返信が来ました。当時、父が姉に対して抱いていた感情と今の私の心境が重なります。姉からの追伸に「あなたが一人暮らしを始めた時や結婚した時も、あとは自分の庭で咲けとよく言っていました。愛されていたのですね」と書かれ、30年以上も前の父の想いに触れることができ、あらためて父の魂に感謝しました。 *父は土を庭と言葉を置き換えたようです。

人生の後半戦を過ごす私にとって、3人の子どもたちには「あとは自分の庭で咲け」と思いを託すのみです。